

事業実施報告書

団体名：特定非営利活動法人MiKOねっと

事業名：地域の子どもとつながる「おじいちゃんおばあちゃんの生きがい講座」

MiKO・マルシェ

1 事業の目的

高齢者が生きがいを持って、いきいきと暮らせるために何が必要かと考えた時、高齢者の方々が集い、そこで目的を持って取り組める事業が必要だと思いました。そして、その事業の成果を持って、地域の子どもたちと交流し、互いに支え合う関係づくりを目指します。多世代の人たちがつながって豊かに暮らせる地域づくり、地域の活性化につなげます。今年度は特に高齢者と小学生との交流に力を入れました。

- ① 第一の目的は、65歳以上の高齢者が集い交流し、お手玉・折り紙・コミュニケーションゲームなどで脳を活性化させ、健全な生活を送ることができるようにサポートします。
- ② 第二の目的は、高齢者が目的を持って取り組める事業として、絵本を拡大模写した「布芝居」を作成し、完成したら地域の保育園やつどいの広場などを訪問し、「布芝居」の披露や読み聞かせ、その他コマ回し・皿回しなどで遊び、交流します。

2 事業の内容

(1) 事業の概要

① お手玉体操・コミュニケーションゲームなどで交流し、脳を活性化させる。

② 「布芝居」づくり

絵本選びをし、著作権をとる。絵本を拡大模写し、布に写す（下絵書き）。

下絵に合わせて、アクリル絵の具で絵付けする。

絵が出来上がったら、1本の棒に縫い合わせる。

今年度の作品は、「ぼくんちカレーライス」です。

③ 布芝居が完成したら、近隣の保育園・つどいの広場などを訪問し、「布芝居」の読み聞かせや、手あそび、お手玉体操、けん玉、コマ回し、皿回しなどを披露し、孫・ひ孫の世代と遊び、三世代・四世代交流をする。（2月～3月）

④ コロナ禍の三世代・四世代交流 「ガーデンレタスマックス」の種蒔き・栽培非接触型の交流方法として行いました。種蒔きし、1か月後に植え替え、その後各自家庭で育て、収穫し食べました。12/19には成長記録を持ち寄り発表会を行いました。

(2) 事業の流れ

◆上記の内容が年度当初のプログラム予定でしたが、

コロナ禍で緊急事態宣言及びまん延防止等緊急措置が発令されるなど、昨年度に続き、予定を変更せざるを得ませんでした。

◆変更点

※新型コロナ感染予防対策として、非接触型温度計での検温、手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保などを徹底し、高齢者の方の交流の場としてのゲーム・脳トレなどはできるだけ控え、各テーブルで布芝居づくりに専念し、事業を行いました。

(ア) 実施回数 2021年6月～2022年2月 20回
第2・第4水曜日 11:30～15:00

(イ) 1日のタイムスケジュール

11:30～13:00 布芝居づくり

13:00～13:30 休憩・お茶タイム (お茶・おやつ)

13:30～15:00 布芝居づくり

(ウ) 「布芝居美術館&読み聞かせ」 5回中4回は中止 (1回実施) (企画書参照)

コロナ禍で保育所などを訪問できないため、事務所隣の集会所に「布芝居美術館&読み聞かせ」コーナーを設置し、散歩がてら立ち寄ってもらう計画を立てました。しかし、まん延防止等重点措置が埼玉県全域に1/21～3/6まで発令され、実施は1箇所のみでした。

※会場は、キャンセルできず、予定していた4日間は急遽「布芝居」の色塗りを実施。

(3) 連携・協力機関

近隣保育園・つどいの広場・高齢者サロンなど

3 成果及び今後の課題

- ・コロナ禍の三世代・四世代交流 「ガーデンレタスマックス」の種蒔き・栽培は、小学生も高齢者も一緒に種を蒔き、食物の成長を見守る事が出来、特に団地住まいの高齢者にとっては新鮮で、毎日世話をし観察することで、青葉の成長から生命力の強さを感じ取ることが出来、日常に潤いが加わり、また来年もやりたい、という声がたくさん寄せられ、とても有意義な取り組みでした。
- ・2月からの「布芝居美術館&読み聞かせ」の披露は保育園など5箇所を予定していましたが、オミクロン株コロナウィルスのまん延で残念ながら1箇所しか実施できませんでした。実施した放課後子ども広場(小学生)では、実施1週間後、参加した子が読み聞かせ時の歌を口ずさんでいました。また、展示された布芝居の元絵本を「図書館で予約し、家で読んだ」との報告もあり、子どもたちの心に深く残ったようです。保育園園児に読み聞かせできなかったのは、本当に残念でした。
- ・高齢者が自分たちで絵本を拡大模写し、布芝居を作り上げ、完成したら地域の保育園やつどいの広場を訪問・子どもと交流するやり方は、子どもたちに喜んでもらい、子どもたちからも元気をもらい「自分も社会の役に立っている」と参加者自身が実感でき、明日を生きるエネルギーが湧き、高齢者が自己肯定できるとてもよい方法だと思います。また、地域の三世代・四世代交流を進めるためにも、今後も継続していきたいと思います。
- ・課題は、コロナ禍で三密を回避するためにコミュニケーションゲームなどを中止にしたことにより、「布芝居づくり」が目的のようになり、本来の目的である「高齢者の心身の健全、地域の三世代・四世代交流」が影が薄くなってしまったような感じもあるので、一日も早く、みんなで楽しく交流できる日常が戻ることを願っています。
- ・3年間助成をいただきありがとうございました。今後も財源を確保し、地域の子どもと高齢者の三世代・四世代交流を推進していきたいと思います。

令和3年度豊かな地域福祉づくり推進事業

地域の子どもとつながるおじいちゃんおばあちゃんの生きがい講座

布芝居づくり



子どもたちとの交流

布芝居美術館&読み聞かせ

ガーデンレタスマックス栽培・成長記録発表会

